

## 第 4 章 設計図の書き方

給水装置の設計図面は、統一された線、文字、記号などを使用し、誰でも容易に装置の全容を知ることができるよう明瞭、正確に描かれたものでなければならない。

### 1. 記入方法

#### (1) 表示記号等

##### ア. 管

管種は表示記号を使用する。主なものは表 4-1-1 による。

表 4-1-1

管 種	記 号	管 種	記 号
石綿セメント管	ACP	塗覆装鋼管	STWP
鋳鉄管	CIP	硬質塩化ビニルライニング鋼管	SGP-V
ダクタイル鋳鉄管	DIP	ポリ粉体ライニング鋼管	SGP-P
NS形ダクタイル鋳鉄管	NS-DIP (PE)	耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	SGP-HV
鉛管	LP	ステンレス鋼管	SSP
ライニング鉛管	PbTW	硬質ポリ塩化ビニル管	VP
ポリエチレン管	PP	耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	HIVP
架橋ポリエチレン管	XPEP	ゴム輪形硬質ポリ塩化ビニル管	RRVP
銅管	CP	ゴム輪形耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	RRHIVP
亜鉛メッキ鋼管	GP	ポリブデン管	PBP

※鋳鉄管において粉体塗装管については PE 表示をする。

イ. 弁栓類その他の用具（給水用具）

弁栓類その他の用具は表 4-1-2 の図示記号を使用する。

表 4-1-2

管及び弁栓類の図示記号				その他の記号	
記号	名称	記号	名称	記号	名称
	立体交差管		一般器具 (給水栓)		受水層
	消火栓		その他器具 (特殊器具)		高置水槽
	空気弁		ボールタップ°		ポンプ
	排泥管		メーター		増圧ポンプ
	仕切弁		減圧弁		大便器
	止水栓		各階への		小便器
	直結止水栓		給湯器		洗面器
	逆止弁		給水 ヘッダー		手洗器
	管種変更		一般器具 (給水栓)		風呂場
	口径変更		その他器具 (特殊器具)		台所
	キャップ		ボールタップ°		
	サヤ管				

注：その他器具とは、湯沸器、ウォータークーラー、電子式自動給水栓などをいう。

ウ. その他の表示記号

給水装置以外の道路、家屋などは一般に表 4-1-3 の図示記号を使用する。

表 4-1-3

名 称	側 溝	築 堤	階 段	塀・柵	申請家屋
図示記号					
名 称	軌道・鉄道	河川及び橋梁	空 地	田 畑	宅地境界
図示記号					

エ. 工事別の表示（新設、既設、撤去、廃止）

管路、弁栓類、給水栓類、受水槽その他を線形又は色別で図示する場合は表 4-1-4 のとおりとする。

表 4-1-4

区 分	新 設		既 設		撤去及び廃止
色及び線の区別	赤色実線		黒色破線		黒色実線を 赤色斜線で消す
記 入 例	VPφ20 		VPφ20 		VPφ20 
受 水 槽 式	直圧部分	揚水管	降水管	消火栓用配管	警報装置
	赤 色	緑 色	黄 色	桃 色	茶 色

注：圧力水槽式、ポンプ直送式の給水管は黄色とする。

(2) 文字

図面に記入する名称、寸法などの文字は JIS Z 8310「製図通則」及び JIS A0101「土木製図（通則）」に準拠すること。

ア. 文字は明確に書き、漢字は楷書とし、術語のカナは片カナを使用する。

イ. 文章は左横書きとする。

(3) 縮尺

ア. 平面図は縮尺 1/200 を基本とし、これにより難しい場合は 1/100～1/500 の範囲で適宜作成すること。

イ. 縮尺は図面ごとに記入すること。

(4) 単位

ア. 給水管及び配水管の口径の単位は mm とし、単位記号はつけない。

イ. 給水管の延長の単位は m とし、単位記号はつけない。なお、延長は少数第 1 位（少数第 2 位四捨五入）まで記入する。

(5) 方位

位置図、平面図については必ず方位を記入し、北を上にするを原則とする。

(6) 位置図

住宅地図などを利用し、申請物件、付近の状況、道路状況、主要な建物を記入し、申請位置が判り易いよう目標物等を記入する。開発団地の場合は全区画を記入すること。焼付けが望ましい。

(7) 平面図

平面図には、次の内容を記号又は文字で記入すること。

ア. 建築平面図

イ. 給水栓など給水用具の取付位置

ウ. 配水管からの分岐位置及びメーター設置位置のオフセット（3 点から測定）

エ. 布設する給水管の管種、口径、延長及び位置

オ. 道路掘削を伴う場合は、道路の種別、道路名称、歩車道の区分等を記入し、路面の状況を記入すること。

カ. 公私有地、隣接敷地の境界線

キ. 分岐する配水管及び既設給水管の管種、口径、位置、所有者

ク. その他工事施工上必要とする事項

(8) 詳細図

平面図で表現することのできない部分については、縮尺の変更による拡大図等により図示すること。なお、配水管や既設給水管から分岐する工事の場合は、道路部断面図を図示すること。

(9) 立面図

立面図は平面図で表現することができない給水管の配管状況を立体的に表示するもので、管の種類、口径及び延長等を記入すること。

(10) 受水槽式、併用式の添付書類

受水槽式及び併用式給水の場合は、直圧給水部分（受水槽まで）と受水槽以下に分け、必要に応じて次の図面等を添付すること。

ア. 図面の種類

各階平面図、立面図、立体図、受水槽・高架水槽の詳細図

イ. 書類

受水槽式の維持管理に関する書類

# 給水装置工事申請書

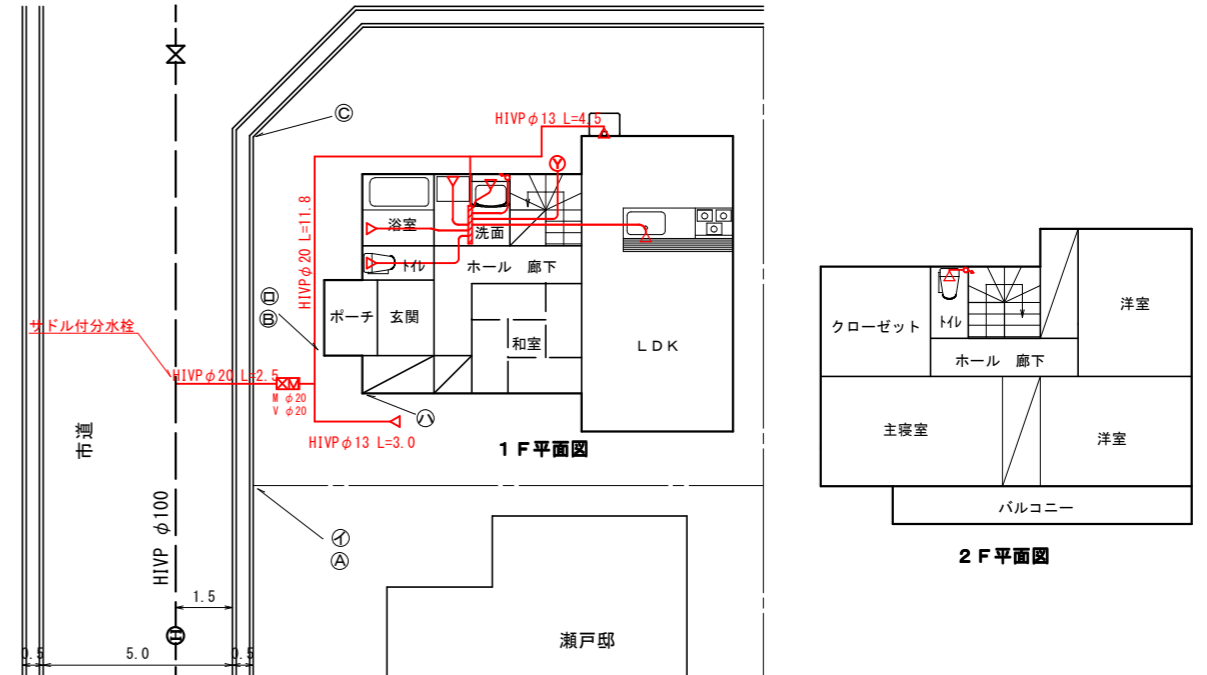
給水栓番号

給水栓種	専用給水装置			工事場所	玉野市玉1丁目1-1					
工事種別	新設	用途	家事用	使用者	玉野 次郎					
メーター口径	φ20	栓数	8 栓	申請者	住所 玉野市玉2丁目2-2					
接続口径	φ20	給水方式	直結式	フリガナ	タマノ	ジロウ	玉野 次郎 			
分岐配水管	HiVP φ 100 mm			氏名	玉野 次郎					
指定給水装置工事事業者				土地・家屋 同意書						
住所 玉野市宇野1丁目13-1				私所有の土地・家屋へ給水することを同意します。						
名称 (有)宇野水道工業 				平成 年 月 日						
連絡先(Tel) (0863)33-9666				所有者 住所						
給水装置工事主任技術者				氏名						
氏名 宇野 一郎 				分岐同意書						
交付番号 000001				私所有の給水装置(給水栓番号 )から分岐することを同意します。						
				平成 年 月 日						
				所有者 住所						
				氏名						
				通過土地同意書						
				私所有の土地へ給水管を埋設することを同意します。						
				平成 年 月 日						
				所有者 住所						
				氏名						
受付番号		接続年月日		給水装置所有者異動						
個人番号		接続業者								
受付年月日		開栓年月日								
審査年月日		検査年月日								
届出日付	住所	氏名	扱							
審査・検査手数料				収入日・印	分担金	収入日・印	竣工検査			
舗装道路本復旧費				収入日・印	予納金	収入日・印	検査員			
竣工検査				設計審査						
課長	課長補佐	主幹	係長	担当	課長	課長補佐	主幹	係長	担当	滞納調査

# 給水装置工事設計書

給水栓番号

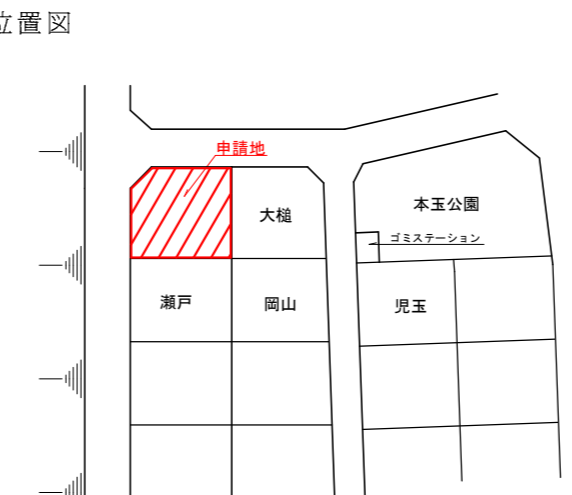
給水装置図面 S=1:200



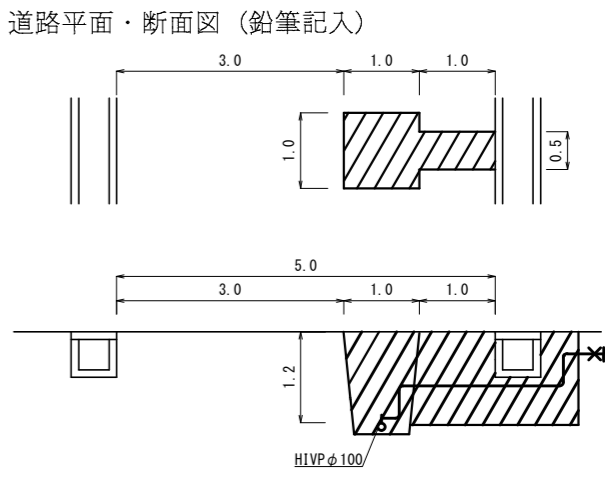
1F平面図

2F平面図

位置図



道路平面・断面図(鉛筆記入)



接続材料			内線材料			メーター位置表示	
名称	口径	設計数量	名称	口径	設計数量	M~イ	M~ハ
サドル付分水栓	φ100×20	1	HiVP	φ20	11.8	M~ロ	M~ハ
副栓付直結止水栓	φ20	1	HiVP	φ13	7.5	分岐位置表示	分~A
HiVP	φ20	2.5	給水ヘッダー	φ20	1	分~B	分~C
			架橋ポリエチレン管	φ13	25.0	仕切弁(止水栓)位置表示	仕~1
			給水栓		7	仕~2	仕~3
			散水栓		1		
			給湯器		1	配管図番号	
						戸番図番号	